

1 部

学習サポート

5～6月の各種申込み締切一覧

各種の申込みや提出の締切で主として5～6月のものを一覧にいたしました。通信教育部では各自のペースで学習していただくことを基本としておりますが、各種の申込みは下記の日程必着でお願いいたします。

■全学生に関連するもの

	提出物	締切日
6月科目修了試験	レポート・申込みハガキ	6月2日(木)
夏期スクーリングⅠ (6/18～7/10)	申込みハガキ	5月26日(木)
オンデマンド・スクーリング3	申込みメール	5月11日(水)正午
オンデマンド・スクーリング4	申込みメール	5月18日(水)正午
オンデマンド・スクーリング5	申込みメール	6月15日(水)正午
特講・社会福祉学5 特講・社会福祉学6 特講・福祉心理学8 履修登録・スクーリング申込み	履修登録用紙	5月10日(火)

	受付日
レポート (レポートはいつ提出してもよいものですが、受付日の午前中到着分までについて、まとめて教員に依頼します。ひとつの提出目標として目安にしてみてください。)	5月10日(火) 5月18日(水) 5月27日(金) 6月3日(金) 6月14日(火) 6月22日(水)

■社会福祉援助技術演習・実習関連

	締 切 日	備 考
◆社会福祉援助技術演習Ⅰ・★演習A スクーリング受講申込み	7～8月受講希望者 →5月31日(火)	『レポート課題集 2011(1・2年次)』 「◆演習Ⅰ」 p. 125～131
◆社会福祉援助技術演習Ⅰ・★演習A 1単位めレポート	7～8月受講希望者 →6月30日(木) ※震災により変更	「★演習A」 p. 190～194
★社会福祉援助技術実習指導B 課題1 (実習計画案)	5/21(仙台)・ 5/28(東京) 受講希望者 →5月6日(金)	『レポート課題集 2011(3・4年次)』 「★実習指導B」 p. 138～142 「★演習C」 p. 126～133 「◆実習指導」 p. 59～64
◆社会福祉援助技術現場実習指導 課題1-① (実習計画案)	6/25受講希望者 →6月3日(金) ※震災により変更	
★社会福祉援助技術演習C 1単位めレポート (スクーリング事前課題)	5月受講希望者 →5月9日(月) ※震災により変更	
◆社会福祉援助技術現場実習指導 (事後) スクーリング受講申込み	6～9月受講希望者 →5月9日(月) ※震災により変更	

■精神保健福祉援助演習・実習関連

	締 切 日	備 考
精神保健福祉援助実習(事後指導) スクーリング受講申込み	7～9月受講希望者 →5月9日(月) ※震災により変更	『レポート課題集 2011(3・4年次)』 p. 83～97
精神保健福祉援助実習 課題1 (実習計画案)	5/22受講希望者 →5月2日(月) 6/26受講希望者 →6月6日(月) 7/3受講希望者 →6月13日(月) ※震災により変更	
精神保健福祉援助実習 課題3-② (実習事後レポート)	7/9・10受講希望者 →6月20日(月)	

■教育実習・障害者(児)教育実習・介護実習関連

	締 切 日	備 考
教育実習・障害者(児)教育実習 誓約書・健康診断書・抗体検査 のコピー(・個人調査票のコ ピー)提出	7月実習開始者 →5月15日(日) 8月実習開始者 →6月15日(水)	※事前指導受講済者の み対象 ※抗体検査は数値だけ のものではなく、医 師による抗体を有す る旨の文言が入った ものであること。
障害者教育実習の事前・事後指導 事前指導スクーリング受講免除届	7/30・31 受講免除希望者 →5月27日(金)	『レポート課題集 2011(3・4年次)』 p. 283～288

■その他

●オンデマンド・スクーリング受講者

- ・オンデマンド1 試験レポート提出期限 6月1日(水)正午
- ・オンデマンド2 試験レポート提出期限 6月1日(水)正午

●卒業研究申込締切 5月5日(木)

●卒業研究提出締切（社会福祉学科・社会教育学科） 6月18日(土)

●通信制大学院

通信制大学院生にかかわる各種締切は、別紙「通信制大学院コーナー」をご覧ください。

考え続けることを

教員 MESSAGE

通信教育部副部長・教授 三浦 剛

今回の震災で被害に遭われた方々に、心よりお見舞い申し上げます。

今から65年前、私たちは戦争によって焦土と化したこの国土から立ち上がり、新しい日本を作ってきました。そしてその発展の土台となる私たちの生活を、教育や社会福祉の制度が支え、今日までつなげてきました。

震災の当日、私は福島県浜通り地方ですすめてきた発達障害児の地域支援システムに関する会議を、県内の施設や行政の担当者と県庁の会議室で行っていました。大きな混乱のなか、次第に情報が伝わってくるにつれ、その地方の惨状が明らかになってきました。数か月前新しいシステムを作り出そうと集った人たちの保育所、幼稚園、小学校は、施設や役所は？多くのものが失われ瓦礫で埋め尽くされた町の跡にことばを失い、また同時に大きな絶望に襲われました。

その後、遠くリビアでは「戦争」が始まり、戦車や爆撃機の下でたくさん子どもたちが逃げ惑っています。また最近になって、脳死判定を受けた子どもからの心臓移植がわが国で初めて行われました。この世の中で起きる様々な事象は、今回の震災のように人智のレベルを遙かに超えたものもあります。しかし、私たちが引き起こすことの方がずっと多いのではないのでしょうか。それらのことに関して、私たちは本当にしっかり考えているのでしょうか。基準があるからそれ以上のことは考えなくともよい、法律で決まったのだから考えても仕方がない、そんな風に考えることを放棄し、ただ座してなりゆきを見守っているのではないのでしょうか。私たちはもっ

と考え、たゆまずによりよく生きるために活動し、本当にそのことが私たちのためになっているのか「安全基準」や「法令」の枠だけにとらわれず正確に評価していく姿勢が必要なのです。そしてそのような姿勢を作るのが学ぶということではないでしょうか。

震災の数週間後には、大きな被害を受けた沿岸地方の学生からレポートが届きました。命があって、当面の生活が確保されたらすぐに学びを再開していることに感動しました。大切なご家族を失われたり、家やコミュニティさえもなくされた方も多いと思います。たしかに勉強なんかしている暇はない時もあります。しかしその段階を越えた時に私たちがしなくてはいけないのは、考えること、そのために学ぶことではないでしょうか。そのことなしに次の新たな社会を作り出すことはできないと思います。新たな社会の福祉や教育を作り出すのは私たちの任です。そのためにたいへんだけれども、つらいことも多いけれども考え続け、学び続けましょう。

私も残された地域で障がいがある方々の相談支援の仕事を再開しました。震災後の新しい課題が山積みです。またスクーリングなどでみなさんとお話しできればと思います。考え続け、学び続け、行い続けなくてはならない。もう一度自分に言い聞かせています。

卒業・修了者からのメッセージ

●7年間で卒業

通信教育部福祉心理学科 今泉祥子

7年という長い間、本当にお世話になりました。私は平成16年に入学させていただきました。しかし、レポートが書けず、3年経っても数単位しか修得できていませんでした。「卒業は無理かもしれない」そんな弱気になっていた平成19年4月頃です。通信教育部から「無理なく力を尽くしましょう」というお手紙が送られてきました。この手紙を日記帳に貼って、その後何度も読み返し、くじけそうになるのを励ましてもらいました。お世話になった先生、いつも細かい気遣いをしてくださった通信教育部の皆さま、感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。

仙台は、私にとって忘れられない街になりました。

●通信制大学院で学んだこと

通信制大学院社会福祉学専攻 小木曾 眞知子

私が東北福祉大学通信制大学院に入学したのは2009年春のことです。その2年前に福祉大の通信教育部を卒業し、精神保健福祉士や社会福祉士を取得しましたが「いつかは大学院に行きたい」と思っていました。卒業後、横浜で精神保健福祉士の全国大会に参加した折に通信教育部で一緒だった友人と再会し、発表をされたその方が「自分の思いを理論的に人に伝える力を養うには、大学院で学んだ方がいい」と助言をいただき、大学院の進学を目指すようになりました。

入学にあたり「今の仕事と両立が出来るだろうか」と不安を感じていました。周囲の同業者（夜学大学院と両立している方や、一度離職し大学院に入学した方）からは「仕事との両立は本当に大変。覚悟が必要」「一旦非常勤になれば」と助言をいただきました。その言葉を聞き不安を感じましたが、以前通信教育部でレポートを作成する力のある程度身につけてきた経験もあったので「何年かかってもいいから、じっくり取り組もう」と決意し入学しました。（全文は、通信制大学院生に配付の別紙、および5月下旬以降通信教育部ホームページに掲載しております。）